

給湯器の節約術

①お風呂で使用するお湯の量を見直す

お風呂で使用するお湯を少し減らしてみましよう。
給湯器で沸かすお湯の量が減るとガス、灯油もそれだけ少なくなります。さらに水道代の節約にもなります。
シャワーを使用するときは今までよりも少ないお湯で身体を洗うなどできるだけ無駄にお湯を使わないようにしましょう。
お風呂の時間を置かずに次々と順番に入浴していく方法も効果的です。



②設定温度を下げる

給湯器の設定温度を下げることもガス代、灯油代の節約になります。
キッチンとお風呂で同じ温度に設定している場合は、設定温度を見直しましょう。
キッチンの場合は、お風呂と同じ温度が必要になることはあまりないためです。

③食器はつけ置き洗いをする

食器洗いの際は、汚れを落としやすくするためにお湯を使う場合がありますが、水でつけ置き洗いをすればお湯を使わなくとも汚れを落とすことができます。冬場はすすぎの際にお湯を使えば、手が冷たくなることもなく少ないお湯の量で食器を洗うことができます。



④追い焚きの回数を減らす

お風呂の追い焚きは多く使用するとガス代、灯油代がかかるので、なるべく追い焚きの回数を減らすために、浴槽のお湯をできるだけ冷まさないようにする工夫をしましょう。

浴槽を使わないときは蓋や保温シートなどで浴槽を塞ぐと、お湯が冷めにくくなります。身体を洗っているときも忘れずに塞ぐようにしましょう。また、家族で別々に入浴する際は、時間をできるだけあけないようにすると、温かいお湯に浸かることができます。

